児童手当—令和6年10月から児童手当の制度改正があります

令和6年10月分（初回支給は令和6年12月を予定）から、児童手当法の改正による制度改正（拡充）が行われます。

制度改正（拡充）の内容

- (1) 所得制限の撤廃
- (2) 支給対象児童の年齢を「中学生（15歳到達後の最初の年度末まで）」から「高校生（18歳到達後の最初の年度末まで）」に延長
- (3) 第三子以降の手当額（多子加算）を月額15,000円から30,000円に増額
- (4) 第三子以降の算定に含める対象の年齢を「18歳到達後の最初の年度末まで」から「22歳到達後の最初の年度末まで」に延長
- (5) 支給回数を年6回に変更（従来は年3回）

(参考) 制度内容の比較

	改正前（令和6年9月分まで）	改正後（令和6年10月分から）
支給対象	中学生 （15歳到達後の最初の年度末まで）	高校生 （18歳到達後の最初の年度末まで）
所得制限	所得制限限度額、 所得上限限度額あり	なし
手当月額	・ 3歳未満：月15,000円 ・ 3歳～小学校修了まで 第一子・第二子：月10,000円 第三子以降：月15,000円 ・ 中学生：月10,000円 ※児童を養育している方の所得が 所得「制限」限度額以上、 所得「上限」限度額未満の場合には、 特例給付として月5,000円を支給	・ 3歳未満 第一子・第二子：月15,000円 第三子： 30,000円 ・ 3歳～ 18歳 到達後の最初の年度末まで 第一子・第二子：月10,000円 第三子以降： 30,000円 ※特例給付は無くなり、受給者全員が上記 の支給額に。
第三子以降 の算定対象	18歳到達後の最初の年度末まで	受給者が生計を負担する22歳 到達後の 最初の年度末まで
支給月	2月、6月、10月（年3回） ※各前月までの4か月分を支給	偶数月 ※各前月分までの2か月分を支給